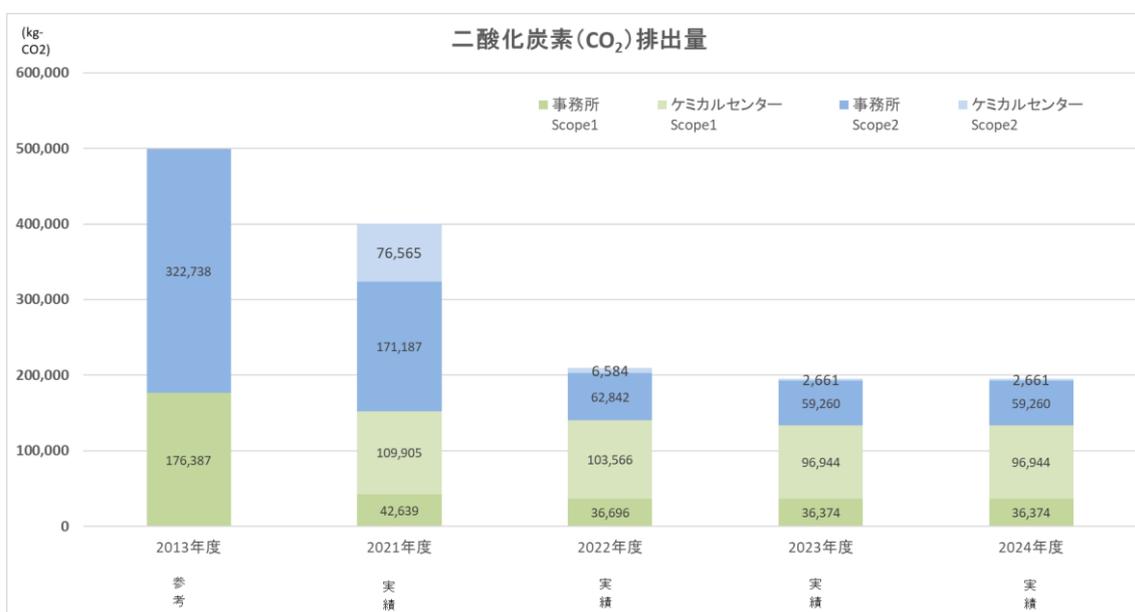


## 7. 2024年度の環境活動及び過去の実績

### (1) 主な環境負荷への取組結果

#### ① 二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO<sub>2</sub>)

実績 \ 年度	2013年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope1	176,387	152,544	140,262	133,318	126,018
Scope2	322,738	247,752	69,426	61,921	55,864
合計	499,125	400,296	209,688	195,240	181,882



※国は2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指しており、その基準年度の実績を参考値とした。

※排出量算定に用いる各電力会社の調整後排出係数は、「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」(環境省・経済産業省公表)に基づき、各年度の前年度実績を適用する。

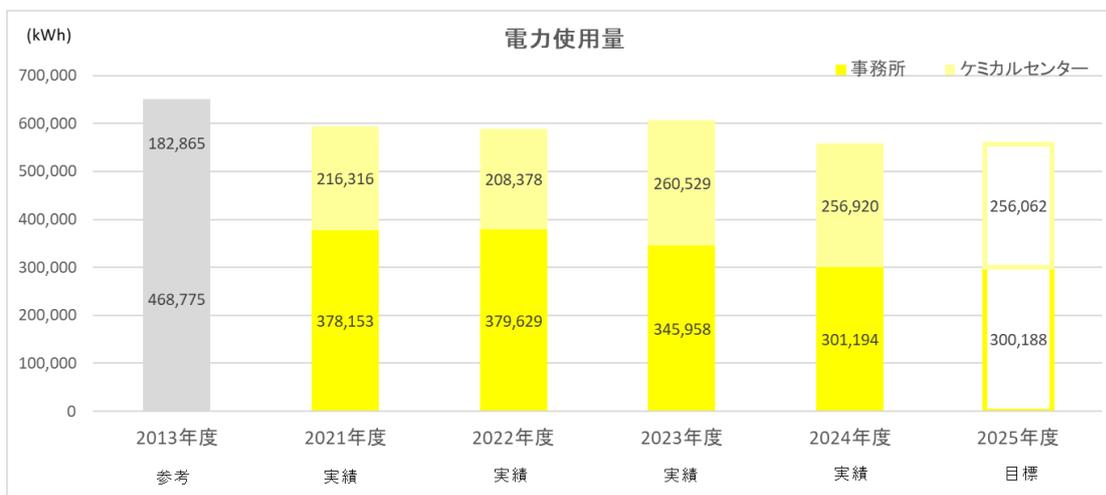
	割合	2024年度実績	対目標増減率
Scope1	: 69.3%	126,018 kg-CO <sub>2</sub>	-5.16%
Scope2	: 30.7%	55,864 kg-CO <sub>2</sub>	-9.48%
合計		181,882 kg-CO <sub>2</sub>	-6.53%

※上記目標値は前年度(2023年度)実績と比較して、0.33%削減

## ② 電力使用量

	割合	実績	対目標増減率
事務所	: 54.0%	301,194 kWh	-12.65%
ケミカルセンター	: 46.0%	256,920 kWh	-1.05%
合計		558,114 kWh	-7.67%

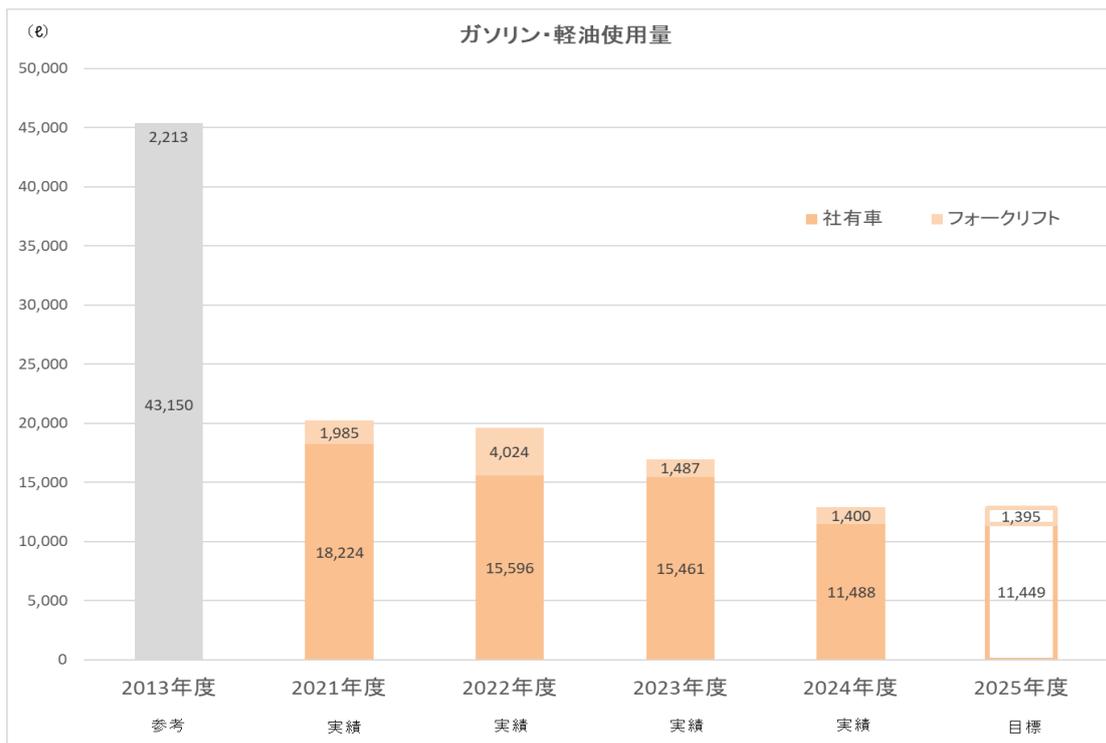
※上記目標値は前年度(2023年度)実績と比較して、0.33%削減



## ③ ガソリン・軽油使用量 (購入量)

	割合	実績	対目標増減率
社用車	: 89.1%	11,488 ㍓	-25.45%
フォークリフト	: 10.9%	1,400 ㍓	-5.45%
合計		12,888 ㍓	-23.70%

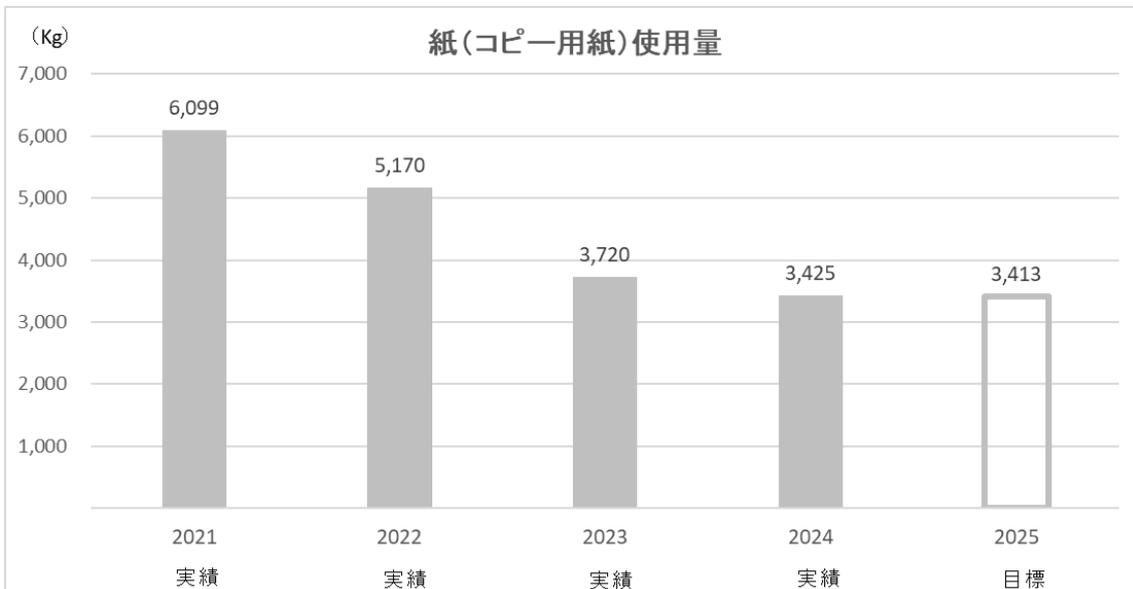
※上記目標値は前年度(2023年度)実績と比較して、0.33%削減



④ 紙使用量 (コピー用紙 購入量)

実績	対目標増減率
3,425 kg	-7.63%

※上記目標値は前年度(2023年度)実績と比較して、0.33%削減



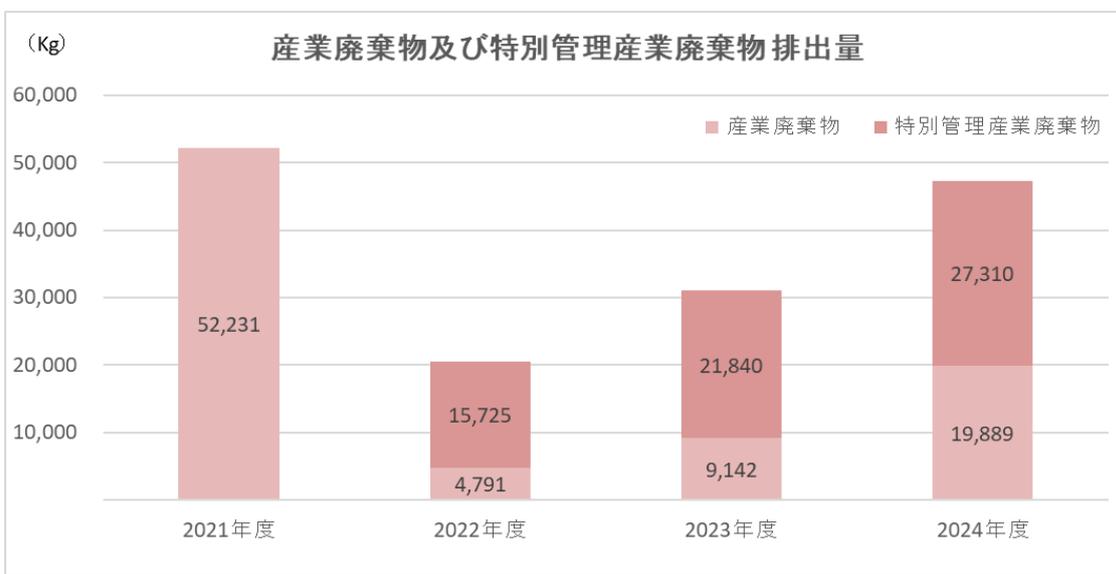
⑤ 事業系一般廃棄物(紙+プラスチック)量

	割合	実績	対目標(前年)増減率
紙	: 92.3%	6,255 kg	-23.71%
プラスチック	: 7.7%	523 kg	+28.46%
合計		6,778 kg	-21.24%



## ⑥ 産業廃棄物排出量

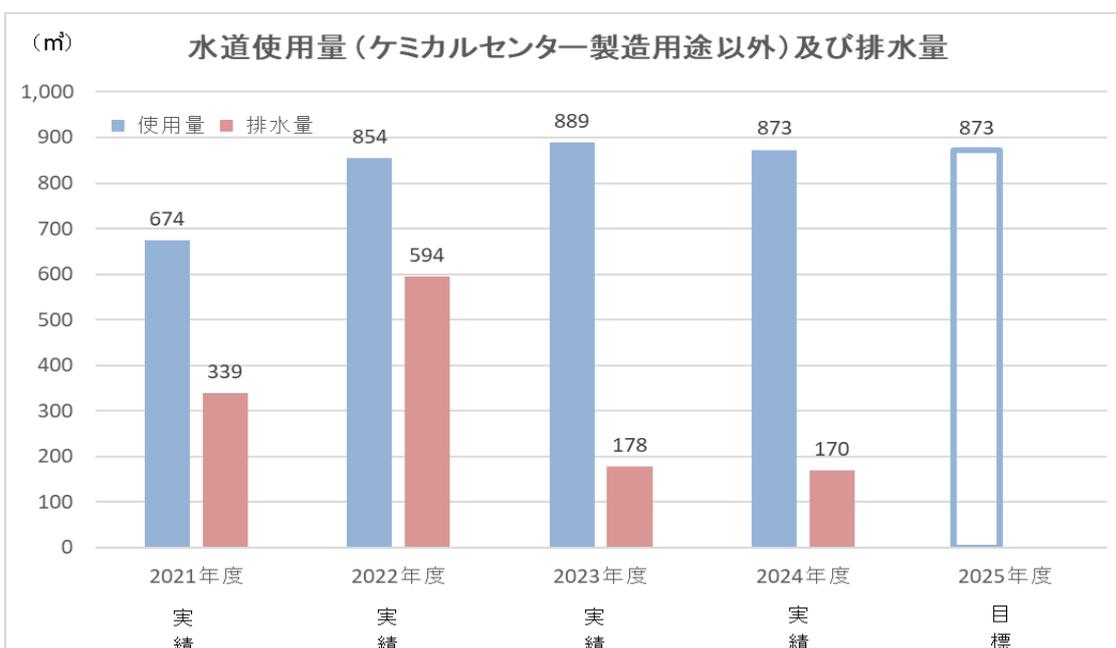
	割合	実績	対目標(前年)増減率
産業廃棄物	: 42.1%	19,889 kg	+117.56%
特別管理産業廃棄物	: 57.9%	27,310 kg	+25.05%
合計		47,199 kg	+52.34%



※特別管理産業廃棄物:爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物。

## ⑦ 水道使用量 (ケミカルセンター製造用途以外)及び排水量

	実績	対目標(前年)増減率
使用量	: 873 m <sup>3</sup>	-1.80%
排水量	: 170 m <sup>3</sup>	-4.49%



## (2) 二酸化炭素排出量削減への取組み



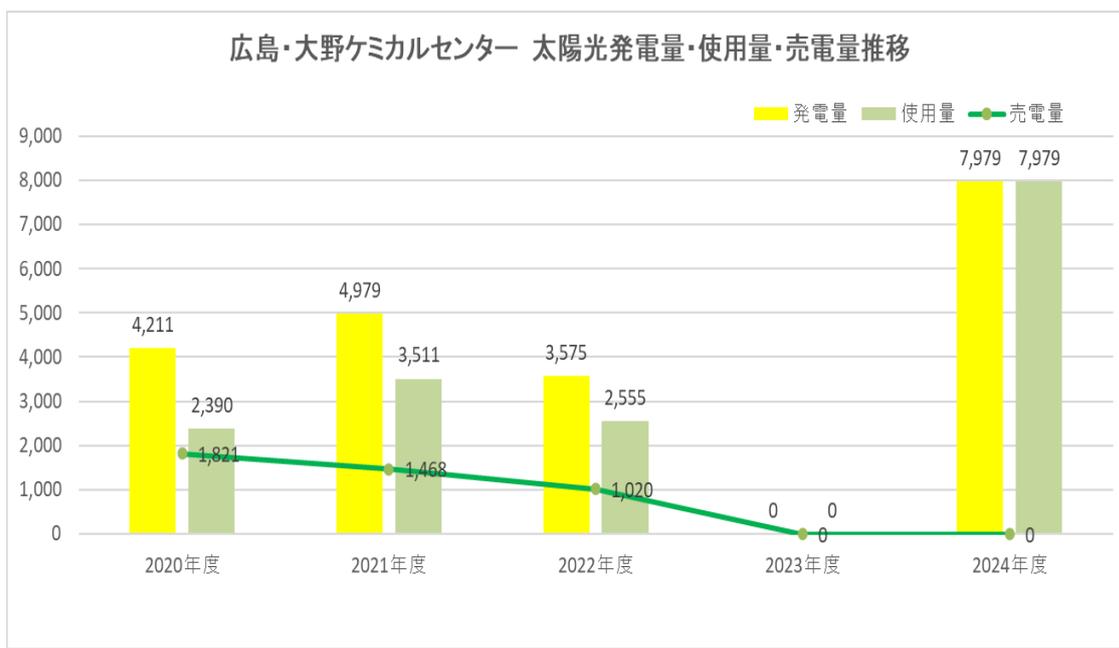
### 広島・大野ケミカルセンターにおける太陽光発電設備の利用

場所: 広島・大野ケミカルセンター (広島県廿日市市)

※大野ケミカルセンター増強工事に伴い 2022 年 12 月に既存の太陽光パネルを撤去。

2023 年 12 月に太陽光発電の能力増強と蓄電池を導入しました。

2024 年 4 月より発電量のデータ取得開始。



### (3) 化学物質の管理

#### ①ケミカルセンター（物流基地）取扱の化学物質

当社は劇物※の船受け可能なケミカルセンター(物流基地)を全国4ヶ所(北海道釧路市、宮城県七ヶ浜町、静岡県富士市、広島県廿日市市)に設置し、物流ネットワークを構築しております。構内や輸送上での事故防止の為、定期的に安全会議、防災訓練、全国物流管理者会議を開催し、安全管理教育の徹底を図っております。

※劇物:「毒物及び劇物取締法」で規制される毒性や腐食性が強い化学物質

釧路ケミカルセンター



仙台・七ヶ浜ケミカルセンター



富士ケミカルセンター



広島・大野ケミカルセンター



#### 【ケミカルセンターで扱う主な化学品】

**【苛性ソーダ】** 無色の強アルカリ性液体。食塩水の電気分解により製造される。  
主な用途:化学繊維、製紙、パルプ、化学薬品、食品工業、石鹼

**【塩酸】** 塩化水素の水溶液。酸性が強く、多くの金属を溶解し、塩化物を作る。  
主な用途:化学薬品、アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、酸洗用

**【硫酸】** 無色の酸性の液体。  
主な用途:肥料原料、化学繊維、化学薬品、金属製錬

## ②ケミカルセンターの防災訓練

### i) 仙台・七ヶ浜ケミカルセンター

実施日 : 2024年10月19日(土)

訓練内容 : 漏洩訓練(ローリー車積込中にバルブが破損。積込配管より薬品が噴き出していると想定)



訓練の内容確認



運転手が漏洩を発見、大声で知らせる



漏洩した薬品



側溝に土嚢を設置し流失するのを防ぐ



土嚢を並べ漏洩液を塞ぎ止める



流失した薬液を桶に回収する

ii) 釧路ケミカルセンター

実施日 : 2025年3月4日(火)

訓練内容 : 漏洩訓練(ポンプボイラー室内の配管から、ピンホールによる苛性ソーダ漏洩)



漏洩現場(疑似漏洩 水 3L)



換気



土嚢・立ち入り禁止区域設置



砂に吸収させ回収



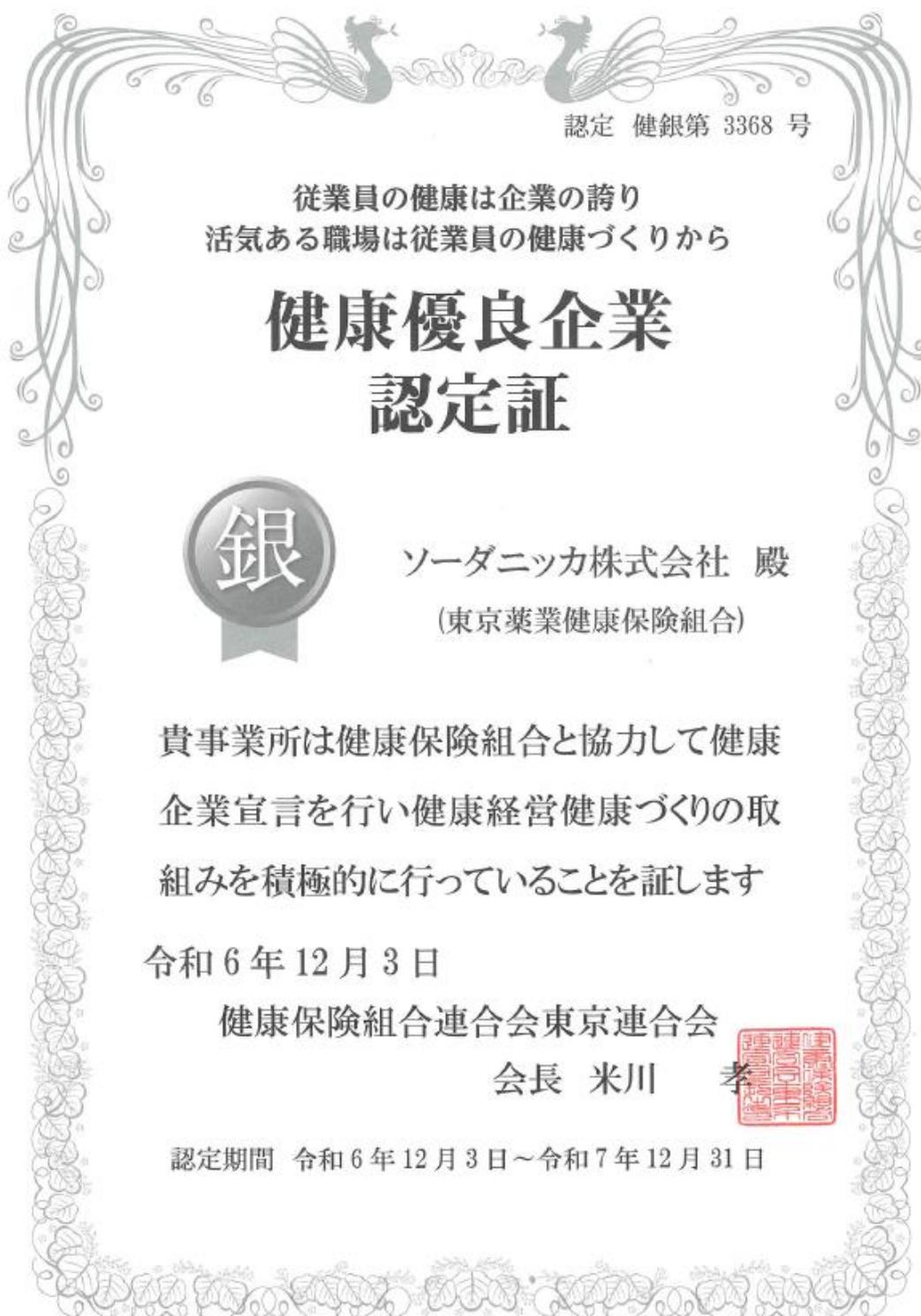
多量の水で洗い流す



PH 確認

(4) 環境貢献活動（営業部門他）

- ① 健康保険組合連合会東京連合会より、健康優良企業の証として「銀の認定」を取得いたしました。



- ② 株式会社 TBM と当社の連携により、カネヨ石鹼株式会社のクレンザー「カネヨン」の製品ボトルに LIMEX Pellet が採用されました。

## Press Release

T B M

2024 年 10 月 18 日  
株式会社 TBM

報道関係者各位

カネヨ石鹼の主力商品「カネヨン」の本体ボトルに  
環境配慮型の「LIMEX Pellet」が採用  
半世紀を超えるロングセラー商品の新たな進化として、環境対応ボトルが実現

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、炭酸カルシウムなどの無機物を主原料とする環境配慮型の「LIMEX Pellet（ライメックスペレット）」が、カネヨ石鹼株式会社（本社：東京都荒川区、代表取締役：富田年一、以下カネヨ石鹼）の主力商品の一つであるクレンザー「カネヨン」の製品ボトルに採用されたことをお知らせします。



カネヨ石鹼の主力商品  
「カネヨン」のボトルに  
LIMEXが採用

今回の事例は、TBM が化学製品の専門会社であるソーダニッカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：目崎龍二）との連携により、長年愛され続けている「カネヨン」の進化の一環として、LIMEX 製ボトル\*への切り替えを実現しました。

\* LIMEX 製品：LIMEX 素材を使用し、製品全体で炭酸カルシウムなど無機物が 50%以上（重量比）含まれる製品

### ■ 採用の経緯

「カネヨン」は、1933 年からクレンザーを作り続けてきたカネヨ石鹼が、1971 年に日本初の液体クレンザーとして発売した製品で、発売以降、洗浄力と研磨力の相乗効果で落ちにくい汚れを落とす台所の必需品として長年にわたり愛され続けています。2021 年には発売 50 周年を迎え、カネヨ石鹼はその長い歴史を振り返るとともに、「カネヨン」の新たな進化として環境に配慮したボトルの検討を開始しました。

検討を進める中で、TBM が製造する「LIMEX Pellet」に対して、プラスチックの使用量の削減が見込める環境性能と、コストの上昇を抑えられる経済的なメリットを評価いただき、採用に至りました。LIMEX 製ボトルへの切り替えにより、従来のプラスチック製のボトルと比較して、プラスチック使用量を約 31%削減し、温室効果ガスの排出量を約 14%削減\*できる見込みです。

この新しい「カネヨン」は、2024 年 9 月より順次店頭にて販売が開始され、初年度に 100 万本の生産が予定されています。今後は他の商品にも「LIMEX Pellet」の採用が進む見込みです。TBM は今回の取り組みを契機に、国内での LIMEX 製ボトルの採用実績をさらに拡大するとともに、海外市場における「LIMEX Pellet」の普及も積極的に推進してまいります。

\* TBM の推定に基づく概算値であり、保証値ではありません。データ取得状況等に応じて変更の可能性があります。温室効果ガス排出量の計算対象は原材料調達～焼却処分（ボトルのみを対象）。

---

#### ■ LIMEX Pellet の特長

- ・石油由来プラスチック使用量と温室効果ガス排出量の削減  
LIMEX Pellet はポリエチレンと比較し、石油由来プラスチック使用量と、温室効果ガス排出量の削減が見込めます。
- ・多様な形状のボトル容器に既存の成形機で対応  
既存の成形機を活用して、内容物に合わせた単層構造・複層構造のダイレクトブロー成形にも対応可能です。
- ・LIMEX 特有のマットな質感を実現  
炭酸カルシウムを主原料とすることで、LIMEX 特有のマットな質感を実現できます。

※プレスリリース(外部リンク) :

[https://tb-m.com/app/uploads/2025/03/20241018\\_kaneyon\\_pressrelease.pdf](https://tb-m.com/app/uploads/2025/03/20241018_kaneyon_pressrelease.pdf)

- ③ 「将来の化学産業を担う人材育成のきっかけづくりをする」をコンセプトとした化学工業日報社による子ども向け化学サイト「きみラボ」に協賛しています。



※きみラボ(外部リンク) : <https://kimilab.jp/>

- ④ スタジアムで排出されるゴミの 100%リサイクルを目指し、FC 大阪様と協働プロジェクトを開始しました。

**【FC大阪】 スタジアムでのエコ循環促進のために生分解性を有する素材『PLA』を用いた植物由来容器を試験導入**

FC大阪 2024年5月31日 10時00分



FC大阪ゴールドパートナーであるソーダニッカ株式会社と協働し、6月2日に開催される明治安田 J 3 リーグ 第15節 vs.奈良クラブ での飲食テナント、キッチンカーによる食事提供において、生分解性を有する素材『PLA』を用いた植物由来容器を試験導入いたします。

明治安田 J 3 リーグ所属のプロサッカー клуб FC大阪は国の掲げる2050年脱炭素社会目標達成に向けて、スタジアムで排出されるゴミの100%リサイクル、廃棄物ゼロを目指しパートナー企業様との協働プロジェクトを開始しております。

開幕戦のホームゲーム開催よりスタジアム場内、場外でのゴミの分別率上昇に取り組んでまいりましたが、プロジェクトをより促進させていくために、FC大阪ゴールドパートナーであるソーダニッカ株式会社と協働し、6月2日に開催される明治安田 J 3 リーグ 第15節 vs.奈良クラブ での飲食テナント、キッチンカーによる食事提供において、生分解性を有する素材『PLA』を用いた植物由来容器を試験導入いたします。

この度、試験導入する食品容器は、トウモロコシやサトウキビといった循環性のある植物原料によって 枯渇資源の使用を減らし、石油由来のプラスチックと比較して、カーボンニュートラルの考え方から燃焼時の温室効果ガスである二酸化炭素排出量を控除できるのが特徴です。

そのため、PLAは生産から廃棄まで、環境負荷を減らす素材で、脱炭素社会や、循環型社会の実現に重要な役割を果たします。

※FC 大阪(外部リンク):

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000567.000045155.html>

- ⑤ ザスパ群馬様との取組みが「2023 Japan Sports Activation Awards」において SDGs 賞を受賞しました。



取り組み内容 **スタジアム飲食店の提供容器を堆肥化させる仕組みづくり**

取り組みクラブ **ザスパクサツ群馬**

取り組み企業 **ソーダニッカ株式会社** **リスパック株式会社**

受賞年 **2023**

賞の種類 **SDGs賞**

### 施策概要

#### 【ザスパエコスタジアムプロジェクト】

取り組みの一つとして、スタジアムから排出されたゴミを「堆肥化」させ、その堆肥をスタジアム内外にて有効活用を目指す取り組みを実施。スタジアムで出店している飲食店の提供容器を、食品残渣が付着した状態で堆肥化可能な廃棄物と共に回収を行い、容器も含めて堆肥化し、スタジアムの芝生の管理や公園の管理といった環境保全活動への使用を目指す。





#### － 目的

- ①地域社会のハブとなるスポーツクラブとしてカーボンニュートラルの実現、群馬県の活性化に貢献
- ②エコスタジアムと題し、Co2排出を削減し、資源循環型のスタジアムを目指す
- ③サスのステークホルダーとの協業によりスタジアムを起点として、群馬県に新たな価値を創出する

#### － 効果

- ・今回の取り組みでは、容器の回収率は使用数に対して3割程度となった
- ・有人のエコステーションにおいては、スタッフの呼びかけの効果もあり、ほぼ100%分別・回収が実現
- ・出店ブースには150名程度のファン・サポーターが来場し、実際に容器を手にとりながら、本取り組みの説明を実施
- ・群馬県、前橋市といった行政にも情報共有を随時行った結果、本取り組みが県民のライフスタイルの変革につながるよう9月から新たに創設した「ぐんまプラごみ削減取組店登録制度」の第1号店として、サスパクサツ群馬が登録された

※JAPAN SPORTS ACTIVATION AWARDS(外部リンク):

[https://japan-sports-activation-awards.jp/case/p\\_t6w1\\_po](https://japan-sports-activation-awards.jp/case/p_t6w1_po)

## (5) 社会貢献活動への取組み

### エコキャップ運動

#### ① 提供先

- ・NPO法人エコキャップ推進協会の活動に賛同し、ペットボトルのキャップを回収・提供しております。

エコキャップ運動の目的は、リサイクルの促進、CO<sub>2</sub>の削減、売却益で発展途上国の医療支援に加えて、障がい者・高齢者雇用促進などの4つの目的です。再生プラスチック原料として換金し、医療支援や障がい者支援、子供達への環境教育等、さまざまな社会貢献にあてられます。

#### ② 回収量

- ・2024年度： 10,681 個 (2024年4月～2025年3月)
- ・累積数量： 146,942 個 (2012年7月～2025年3月)

#### ③ 焼却した場合のCO<sub>2</sub>発生量(換算)

- ・2024年度:78.25kg ・累積:1,076.45kg

※ゴミとして焼却した場合、キャップ 1kg で約 3,150gのCO<sub>2</sub>が発生します。

#### ④ 回収場所等

エコキャップ回収ボックス



回収したエコキャップ



## (6) 地域の環境保全活動

### 各事業所の環境保全活動への参加

#### 【本社】

##### ○まちかどクリーンデー（中央区）

本社ではお昼休みの時間帯に「まちかどクリーンデー」（清掃活動）を行っています。

（4/7、6/10、9/10、11/11、3/10…174～178回）

##### ○はな街道

クリーンウォーク 2024 夏

7月18日

歳末クリーンウォーク 2024

12月19日

2024年6月10日

中央区まちかどクリーンデー



2024年12月19日

はな街道「歳末クリーンウォーク 2024」



#### 【支社・支店・ケミカルセンター】

① 釧路ケミカルセンター 2024年7月2日

海の日 海岸清掃活動



② 四国支店 2024年7月7日

清掃ボランティア



③ 広島・大野ケミカルセンター 2024年7月13日  
大野漁協一斉海浜清掃活動海の日



④ 福岡支店 2024年11月5日  
清掃ボランティア



⑤ 仙台・七ヶ浜ケミカルセンター 2024年11月22日  
近隣他社と合同清掃活動



⑥ 広島支店 2024年12月27日  
清掃ボランティア



⑦ 関西支社 2025年2月6日  
大阪マラソン“クリーンUP”作戦



⑧ 宇部営業所 2025年2月12日  
清掃ボランティア



⑨ 名古屋支店 2025年2月20日  
清掃ボランティア



⑩ 仙台支店 2024年3月24日  
清掃ボランティア



## (7) その他の環境活動（eco 検定®の受検）

当社は、第1回試験（2006年10月15日）より受験、多数の合格者を輩出しています。受験者には、受験料・テキスト代（初回のみ）などの費用補助を行っております。また、2019年度より社内人事昇格試験制度の資格ポイントにeco検定を採用しています。2024年度（第36回、37回）は4名が合格しました。



※eco検定（環境社会検定試験）®は東京商工会議所の登録商標です。

### eco検定（環境社会検定試験）®保有者数・合格者数

